

令和4年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和5年3月18日（土）午前10時～午前11時30分

開催場所：笠間市役所 本所2階 2-6 会議室

出席者：12名

《説明後の意見交換》

- 1 北山公園について
- 2 行政区について
- 3 各地区の事業について
- 4 少子化対策について
- 5 国道355号の渋滞解消について
- 6 道路の整備等について

1 北山公園について

【意見等】

北山公園内に、ローラー滑り台の塗装の剥がれや木が朽ち果てている箇所、案内看板が見えない箇所等があるが、管理事務所に話をしても対応してもらえない。

展望台もあるが、登ってみたいと思う工夫をしてほしい。市の行事案内や子どもたちが描いた絵を飾るなどしてはどうか。

また、北山公園で年1回程度イベントを開催してはどうか。

【回答】

北山公園については、指定管理者として笠間市造園建設業協同組合が管理している。市内には他にも公園があり、草木が伸びてきている等の意見はいただいているが、危険度が高いものから対応していきたい。

展望台に関する意見と、公園内の管理が行き届いていない箇所については、市から指定管理者へ伝える。

イベントは「桜まつり」を以前開催していたが、実行委員会委員の高齢化により開催が難しくなったため、中止となった。指定管理者及び市としては、北山公園でイベントを開催することは歓迎するが、市主催でイベントを開催することは現在考えていない。民間の方々に賑わいの出るようなイベントを開催してもらえればと思う。

2 行政区について

【意見等】

笠間市に転入してきた当初、行政区に加入する際、公民館の建設負担金10万円を支払った。消防団の会費も支払っているが、地区ごとに世帯数などで負担金の金額が異なるのはどのような理由からか。市で一律の金額を徴収して各分団に分配する方法にしてはどうか。また、市ではデジタル化を進めているが、デジタル化が進むことで行政区制度は必要なくなるのではないか。

【回答】

区に加入する際の負担金の支払いについては、市は関わっていない。消防団の会費については、各地区の消防団には後援会があり、金額などは消防団や後援会が決めている。会費の集め方などを市から指示しているものではない。また、消防団の会費や社会福祉協議会の会費などは本来、それぞれの団体が徴収すべきものである。長い歴史の中で区長が集めるようになり、現在まで続いている。そのような会費の集め方について、現在協議中であり、今後各種負担金や会費の集め方を見直していく。

デジタル化と行政区のあり方については切り離して考えている。区長が地区の課題を吸い上げて、区長から市へ要望としてあげてもらっているが、このようなデジタル化できない部分などは現行の行政区制度で対応する。

3 各地区の事業について

【意見等】

友部地区、岩間地区に関する事業は手厚いが、笠間地区についても考えてほしい。佐白山の石倉は現在、草木が伸びていたり整備されていないように思う。

【回答】

各地区平均して事業を行っている。佐白山の石倉周辺は県立自然公園になっていることもあり、木の伐採などがなかなかできない状況である。市では現在、笠間城の調査を続けている。調査後は国の文化財の指定を受けられるように、取り組みを進めている。

4 少子化対策について

【意見等】

令和5年度の重点プロジェクトとして、さまざまな取り組みを計画しているとのことだが、出生率2.95を記録している岡山県奈義町の施策と比較して、劣らないような施策なのか教えていただきたい。

【回答】

岡山県奈義町の施策と比較はしていないが、今後参考にしていきたい。現在、自治体ごとに支援策が異なるが、全国一律の支援ができるようになるべきだと思う。

5 国道355号の渋滞解消について

【意見等】

手越に設置されている信号機（手越西）周辺の渋滞を解消していただきたい。笠間芸術の森公園方面から国道355号に出て友部方面へ向かう途中の信号機で、赤信号から左矢印の青信号に変わり、その次に再度赤信号に変わるが、通行がスムーズになるように信号機の設定を変えることはできないか。友部方面から来栖方面に向かう場合、芸術の森公園方面へ向かう右折車両により渋滞している。信号機の矢印を活用すれば通行がスムーズになると思う。

【回答】

朝や観光シーズンなどは特に交通量が増えている。手越の交差点の信号機は、国道355号バイパスが

開通した当初、事故が頻発した結果、現在の設定となっている。笠間方面から友部方面へ向かう場合、信号機の手前にあるゼブラゾーンの箇所を右折レーンを兼ねているものになっている。今後も警察と協議して対策を検討する。

6 道路の整備等について

【意見等】

長兎路の二所神社から県道 30 号（水戸岩間線）へ抜ける道の途中で、道が狭いまの箇所がある。

また、茨城中央工業団地 2 期地区に進出する企業はどの程度決まっているのか。茨城中央工業団地から内原へ抜ける道路の建設予定はあるのか。

【回答】

茨城中央工業団地の 2 期地区について、どの企業が進出するのか言うことはできなが、県と連携して企業誘致を行う。内原へ抜ける道路については、県に要望しているところである。

道路の整備に関して言えば、道路を整備した後の維持管理費は次の世代が負担することになる。市内でも、人口減少している地区の道路と、店舗などの進出により渋滞が増えている道路がある。実際は渋滞の多い道路から対策していくこととなる。道路のあり方や整備の仕方は今後の課題である。